

グローバル COE 協賛事業
レーザー学会マイクロ固体フォトニクス専門委員会
セミナーレポート

主催：レーザー学会マイクロ固体フォトニクス専門委員会

日時：2007年9月28日（金）

場所：大阪大学 工学部 E3-316, E5-312

概要：

レーザー学会が設置する研究専門委員会のうちのひとつ「マイクロ固体フォトニクス専門委員会」において、マイクロ固体フォトニクスをテーマとした講演をおこなった。講演会のテーマは「フェムト秒レーザで広がるレーザ応用の世界」であり、阪大院工生命先端准教授西澤典彦先生から「超高速非線形光学効果を用いた高次機能光制御」、



同助教小関泰之先生から「フェムト秒レーザを活用する3次元計測・観察及び3次元デバイス加工」、大阪大学レーザーエネルギー学研究センター准教授谷正彦先生から「フェムト秒レーザー励起によるテラヘルツ電磁波発生とその分光・計測への応用」と題する3件の講演をいただいた。また、特別セミナーとして、阪大院基礎工助教久武信太郎先生より「疑似速度整合型超高速電気光学位相変調による光のスペクトル制御」、松下電器水内公典博士より「分極反転SHGレーザとその応用」と題する2件の講演をいただいた。レーザ物理、レーザ装置、レーザデバイスに関する最先端研究が紹介され、活発な議論が交わされた。

以上